

【その他事項 1】山直東のまちづくりについて

経 過

～平成28年度

まちづくり説明会：3回

平成28年12月 泉州山手線沿道のまちづくりの方針 策定

平成29年度

7月20日外 泉州山手線の都市計画変更に関する説明会

9月 3日 まちづくり説明会

2月18日
～3月 4日 まちづくり意見交換会

2月28日 泉州山手線 都市計画変更

平成30年度

9月 2日 まちづくり勉強会の設立、第1回勉強会（土地区画整理事業の概要）

11月18日 第2回勉強会（土地区画整理事業の流れ）

12月14日
～16日 第1回個別相談会（個別権利者に対するヒアリング）

2月 3日 第3回勉強会（これまでのおさらい、今後の進め方）

令和元年度

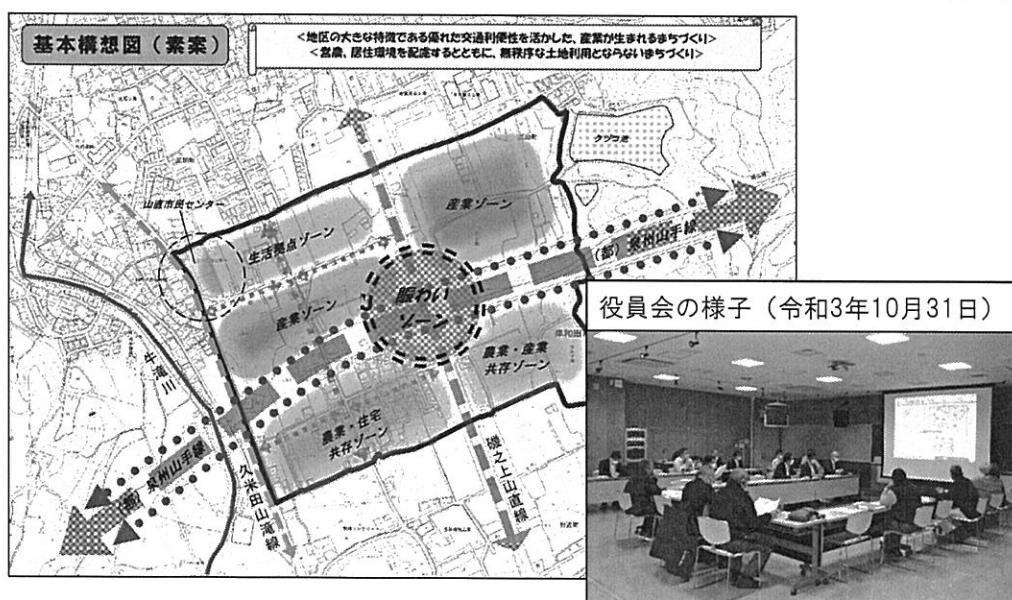
6月16日 第4回勉強会（まちづくり手法判断のための具体的検討 等）

7月17日
～21日 第2回個別相談会（個別権利者に対するヒアリング）

8月25日 第5回勉強会（意向調査結果報告、事業化検討パートナーの必要性）

12月22日 第6回勉強会（企業調査途中経過報告、税金）

3月15日 第7回勉強会 ※書面開催（これまでのふり返り、企業調査
事業化検討パートナー募集）



令和2年度

- 8月12日～23日 第3回個別相談会（個別権利者に対するヒアリング）
- 11月29日 まちづくり研究会の設立
- 1月17日 第1回役員会（具体的な活動内容）
- 2月16日～21日 第1回意見聴取会（個別権利者からの意見聴取）
- 3月21日 第2回役員会（事業化検討パートナー募集）
- 3月23日 事業化検討パートナー募集開始

令和3年度

- 6月27日 提案内容のプレゼンテーション、審査会、第3回役員会
(プレゼン及び審査会の結果を踏まえ
役員会にて事業化検討パートナー選定)
- 8月 1日 第4回役員会（事業化検討パートナーとの覚書、アンケート調査）
- 9月12日 第5回役員会（アンケート調査結果、まちづくりイベント）
- 10月31日 第6回役員会（土地利用の方向性、ゆめみヶ丘岸和田事例紹介、
公共交通）
- 11月21日 全体報告会（これまでの取組み経過、ゆめみヶ丘岸和田事例紹介
公共交通）
- 12月19日 第7回役員会（エリアごとのまちづくりの考え方、イベント）
- 3月 6日 第8回役員会（意向収集・整理の進め方、愛称募集、公共交通）
- 3月25日～5月13日 きしわだ新拠点 愛称募集（応募総数：44件）
- 3月中旬～ 個別ヒアリング、意向収集・整理

令和4年度

- 6月8日 第9回役員会（きしわだ新拠点の愛称、これまでの進捗と今後の
進め方、公共交通）
- 7月12日 第10回役員会（エリア別まちづくりの具体的な進め方）
BCエリア準備組合設立に向けた発起人会 設立
- 7月17日 総会（きしわだ新拠点の愛称、これまでの進捗と今後の進め方、
公共交通）
きしわだ新拠点 愛称 「山直東」に決定
- 8月17日 第1回発起人会（代表者、意思決定方法、名称）
- 9月14日 第2回発起人会（土地区画整理事業の仕組み、土地利用計画(素案)）
- 10月26日 第3回発起人会（BCエリア勉強会内容、勉強会の周知）
- 10月30日 第11回役員会（発起人会の進捗、まちづくり方向性の整理）

特集 岸和田の新しい拠点、

やまだいひがし

「山直東」から広がる未来

「山直東」の誕生

都市計画道路泉州山手線（下図参照）は、大阪都心部と関西国際空港をつなぐ泉州地域の丘陵部の広域幹線で、泉州地域のみならず南大阪の魅力を高める新たな交通の軸として計画されている道路です。また、南海トラフ地震や台風などの災害に備え、沿岸部の交通の軸とともに、大阪都市圏の安全性・安心感を高める丘陵部の交通の軸として計画されている路線でもあります。

事業化が予定されているのは、岸和田市・和泉市の境界～熊取町の国道170号までの区間（約9.5km）となっています。岸和田市では、岸和田市・和泉市の境界～府道春木岸和田線（岸和田中央線）の区間が先行して事業着手する工区となっており、その中で大きな交通結節点となるフタツ池交差点を中心としたエリアで、今、まちづくりに取り組んでいます（赤枠内）。

岸和田の新しい拠点となるこのエリアの愛称を「山直東」として、今後、次の100年に向けて、まちの活性化、にぎわいの創出、利便性の向上を図り、持続可能なまちづくりを進めています。



新拠点交通広場開設記念イベントを開催

バスってどうやって乗るの？

～公共交通に親しみを持ってもらうために～

■記念式典（11月5日㈯）

新規路線バス実証運行開始と新拠点交通広場の開設を記念して、関係者を対象に記念式典を道の駅 愛彩ランド（岸の丘町3丁目）と新拠点交通広場（三田町）で開催します。

■開設記念イベント（11月6日㈰）

バスをもっと身近に・気軽に利用して頂けるよう、イベントを開催します。詳しくは市ホームページをご確認ください。

場所 新拠点交通広場（三田町）

イベント	内容
試走体験	実際にバスに乗車し、新規ルートを試走します。
バスの乗り方教室	バスの利用方法について、乗車から降車までの流れを学びます。
モビリティ体験	モビリティと公共交通の乗り継ぎを体験します。

新規路線（山直線）バスの導入（11月7日㈪）実証運行開始

事業着手が予定されている泉州山手線を含む本市山手地区において公共交通再編の一環として、昨年度まちびらきが行われたゆめみヶ丘岸和田や山直東の交通広場を結ぶ新規路線（山直線）バスを、道の駅 愛彩ランド～和泉中央駅間で11月7日㈪から実証運行を開始します。運行ルートは下図「◆新規ルート」のとおりです。運行ダイヤは、路線バスの利用を定着させる工夫として、朝の通勤時間帯は1時間に3本、夕方は1時間に2本のダイヤを設定する予定です。現在バス事業者である南海ウイングバス株式会社が道路運送法の手続きを行っています。

多くの方に利用していただくと、実証運行路線が継続的に運行されます。市民の皆さんの利用をお願いします。

岸和田市では、泉州山手線の整備と沿道のまちづくりに取り組んでいます。その一環として取り組んできた、岸和田市市制施行100周年記念事業の新拠点交通広場が今月完成し、11月からは新規路線バスの運行が始まります。バスの運行やデジタル技術を活用するスマートシティの取り組みを通じて、公共交通を中心とした移動がスムーズなまちづくりを目指します。

今号では、岸和田の新しい拠点「山直東」のまちづくりについて、新拠点交通広場を中心に紹介します。
問合 まちづくりについて…市街地整備課新拠点整備担当 ☎ 072-447-6526 ☎ 072-437-9171
路線バスについて…市街地整備課交通政策担当 ☎ 072-423-9656 ☎ 072-437-9171

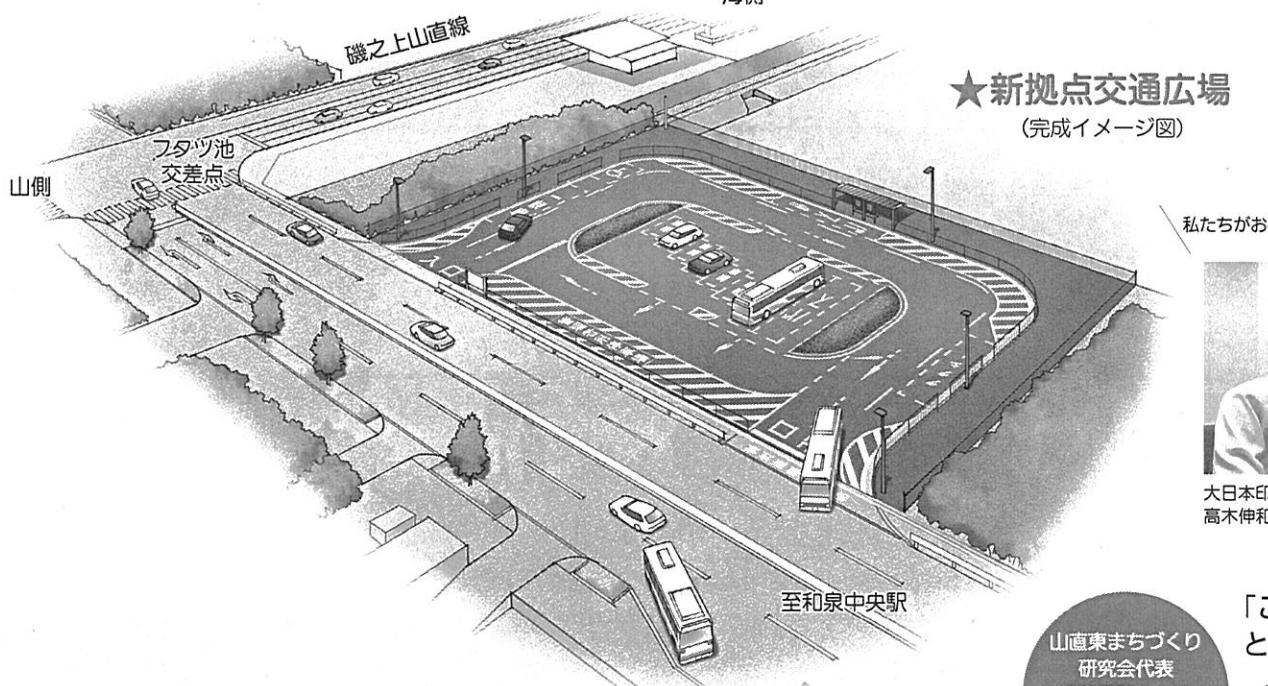


「より便利」、「より暮らしやすい」を実現するために 新拠点交通広場を整備

泉州山手線と沿道のまちづくりと並行して、岸和田市では「より便利」、「より暮らしやすい」まちを実現していくために、第一段階として新しい拠点となる「山直東」でバスなどの公共交通を充実させるなど、より魅力を高める公共交通軸の形成に向けた取り組みと、次の100年へのまちづくりの起爆剤として、新拠点交通広場を整備しています（下完成イメージ図参照）。

ここでは、新規路線である山直線のバス停留所（山直東）や、一般車両およびタクシーの乗降場を設け、交通広場の中央には車両の一時待機場も設けています。

海側



大日本印刷株式会社
高木伸和さん

移動がスムーズなまちづくり スマートシティの取り組み

近年、移動に不安があり外出を控えることがある、駅やバス停があってもそこまで行くことが難しいなど、移動に不便を感じる声をよく聞くようになりました。そういったことから、山直東では、新拠点交通広場を中心とした「移動がスムーズなまちづくり」にも取り組んでいます。

具体的には、スマートシティの取り組みを通じて、基幹的な公共交通機関としての新規路線バスと、そのバス停と自宅（目的地）の移動を支えるための様々な次世代小型モビリティ（自動車よりも小回りが利く、1～2人乗り程度の乗り物）を活用できるよう、検討を進めていきます。

この「山直東」での取り組みを広げることで、周辺の地域も含めて、人の移動がスムーズになり“にぎわい”が創出されることを期待しています。



大日本印刷株式会社では「誰が・何を使って・移動するか」を独自の認証技術でつなぎ、スマートフォンを持っていない人でも移動サービスが利用できるデジタルサイネージや、NFCポスターを使った仕組みを提供しています。
また皆さんが外出したくなる、移動が楽しくなる情報を発信していくことで、誰一人取り残さないスマートシティの実現を目指していきます。

※デジタルサイネージ・ディスプレイなどの表示機器を使って情報を発信するメディアの総称。
NFCポスター…NFC（近距離無線通信技術）タグを装着したポスター。対応スマートフォンをかざすとポスターの関連情報を取得できる。

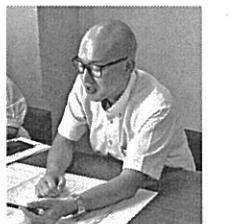
「この地域が一番バランスのとれた住みやすいまちやね」と言ってもらえるようなまちに。

山直東地区は、住宅、商業地、工業地、田畠・山のバランスのとれた住みやすい地域です。田舎でもない、街でもない、そんなちょうどいいバランスの地域だと思っています。でも、住みやすいけれど、公共交通の乗り物には不便さを感じています。久米田駅は快速電車が止まらない、バスも旧の牛津街道しか通っていない。

もうすぐ団塊の世代の人も免許証を返納する年齢になります。そんな中で、ここに交通網の核となる施設ができるのは非常に楽しみです。若い人も含め、和泉中央駅を利用する人は多いです。磯之上山直線バス路線がなく、三田の中を通っていく路線があればという意見もあったので、和泉中央駅へ行きやすくなるのはありがたいですね。山直東まちづくり研究会の代表になり、地域の期待を背負っているという責任感と地域の活性化に役に立てるという喜びを感じています。今はこの開発の区域は大半が市街化調整区域。それが市街化区域になると選択肢が増えてきます。

土地を活用するチャンスが生まれるので期待が大きいです。活気にあふれ、でも安堵感がある、岸和田の中でのこの地域が一番バランスの取れた住みやすいまちやねと言ってもらえるようなまちにしていきたいですね。

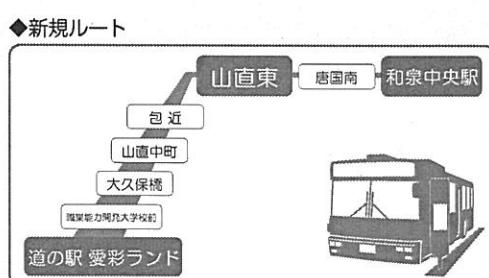
私たちがお手伝いしています！



株式会社フジタ
西田真司さん

「山直東」のまちづくり実現に向けて、地域の皆さんの想いを第一に、最適な事業手法を提案します。

※写真撮影時のみマスクを外しています。



■実証運行開始（11月7日㈪）
道の駅 愛彩ランド～和泉中央駅間の路線バス実証運行が始まります。今後、市ホームページで随時情報を発信します。

QRコード
実証運行についてはこちらから



開設記念イベントで設置予定のデジタルサイネージ
バスの運行状況やモビリティとの乗り継ぎ案内などの情報をお知らせします。



モビリティイメージ
イベント当日は様々なモビリティを準備します。



山直東まちづくり研究会代表
信貴正憲さん